

1. 外部評価報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2971000258
法人名	社会福祉法人 蒼隆会
事業所名	グループホームすばる
所在地	香芝市鎌田157-1 (電話)0745-71-7171
評価機関名	特定非営利活動法人 法人なら高齢者・障害者権利擁護ネットワーク
所在地	奈良市内侍原町8 ソメカワビル202号
訪問調査日	平成19年10月10日

【情報提供票より】(19年9月29日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年3月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	5 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 3 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	1階建ての 階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	70,000 円	
敷金	有() 円		○無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	○有(200,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無○	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500 円			

(4) 利用者の概要(9月29日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名	
要介護1		名	要介護2	4	名	
要介護3	4	名	要介護4	1	名	
要介護5		名	要支援2		名	
年齢	平均	84.2 歳	最低	68 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	奈良友誼会病院
---------	---------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当麻駅から徒歩15分の畑や民家が混在する地に当ホームはあり、運営母体である特別養護老人ホームの広い敷地内に併設している。ボランティアによるお花畑にはコスモスが咲き、遠く二上、葛城の山を望める。ホーム内は広い食堂、居間を取り囲むように玄関、居室、浴室が配置され、吹き抜けになった坪庭にはうさぎが飼われている。居室にはトイレ、洗面台、物入れが設置されており、窓には障子をはめ込まれている。利用者は今まで使っていた家具を持ち込んで、1部に畳みを敷いたり、家具を少なくすっきりとした部屋にするなど好みの部屋作りをしている。理念にある「利用者の声を聴く、普段の暮らしの継続」を基に、利用者の得意分野を活かし、共に楽しみ、思いを大切にゆったりとした介護を実践されている。

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 運営理念を地域に伝えるための取り組みや家族同士の話し合いの場作り、職員のフォローアップ研修など改善課題についての話し合いはされたが、いずれも取り組みまでは至っていない。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価を行なうにあたり全職員で話し合いの場を設け、準備に取り掛かっていたところ、同時期に管理者が入院することになり、急遽事務長が手続きをひきついだため、取り組みは中断された形になっている。管理者、職員共に前向きな姿勢でおられるので今後を期待いたします。
	③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) どの家族も月に1度は面会に来られており、その都度、意見を聞くようにしている。相談や苦情は個人的な事柄が多く、電話連絡や話し合いを行い、職員会議でも話し合い運営に反映させている。家族アンケートの総評を受けて職員が必ず居間に一人は残るように取り組んでいる。
	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 幼稚園や小学校の行事に参加したり、地域の行事を見にでかけたり、併設の施設に来られるボランティアなど交流はあるが、ホーム独自の行事に招待することは少ないため、今後は地域との交流促進のために、ホームからの積極的な働きかけを期待いたします。

2. 外部評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	個別化、統一性のある生活。利用者の声を聴く。普段の暮らしの継続を理念に、職員や家族の目に触れる居間に掲げている。		地域密着型としての事業所のあり方を、理念の中に反映させることが望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は職員会議で理念に基づいたケアの取り組みを話し、職員は有りのままを受け入れ、否定しないケアを実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の幼稚園や小学校の行事に参加したり、お祭りを見に出かけたり、併設の施設が受け入れているボランティアの活動にも参加して交流はできている。ホームからの働きかけが少ないので自治会への働きかけを行い、連携を密にしてゆくことが望まれます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は担当者が記入し、管理者、職員で話し合っって評価の意義を理解しているが、アクシデントがあり取り組みまでは至っていない。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見サービス向上に活かしている	運営推進会議はこれまで2回開催され、外部評価や利用者の日々の生活の様子などを報告し、会議の内容や意見などは職員に伝達しているが、具体的な取り組みまでは至っていない。	○	日程の調整に苦慮されているが、推進会議の立ち上げが出来たので、諦めず人選を考慮するなどして、率直な意見交換が出来る会議が作られることが望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	何かあれば相談しているが、日常的には行き来はない。	○	市町村にも義務付けられていることであり、報告や指導が受けられるように、事業所からの働きかけを蜜にされ、共にサービスの向上に取り組まることが望まれます。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に1度はどの家族も面会に来られており、暮らしぶりや健康状態などを報告しているが、電話での報告も多い。小遣いの管理は毎月出す請求書と共に、3ヶ月に1度位預かり金が少なくなった時点で報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時には声かけをし、意見や希望を聞いているが、個人の処遇に関しての意見、希望が多い。訪問時に説明や話し合いを行ない、職員会議でも話し合って運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設(H15年)以来4名の職員が退職しているのみで、法人内での移動は行なわれていない。受け持ち担当が変更の折には、説明や挨拶をして利用者のダメージを防ぐ配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個人的に、外部研修を受けている職員もおられるが、事業所としては初期研修は行なわれているが、以後は情報提供のみで、全体の取り組みには至っていない。	○	隣接の施設の研修に参加したり、1名ずつ外部研修に参加するなどの取り組みや、研修してきたことを発表する機会を作り職員全体で共有する仕組み作りが望まれる。職員も研修を望んでいる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設内のデイサービスや特別養護老人ホームとは、利用者・職員共に訪問や行事への参加など交流は出来ているが、市内の他事業所との交流を検討しているが、現実には出来ていない。	○	地域には他事業所が少なく(近じか4箇所目が出来る予定)、交流が難しいこともあろうが、出来るだけネットワーク作りや勉強会、相互訪問などの交流の機会を作られることが望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	お試し宿泊を2, 3日して頂き、時には2度される方もありますが、職員や他の入居者、ホームの雰囲気に馴染めるよう工夫している。隣接施設のデイサービスを利用されていた方の入所もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の暮らし方は本人の意向を尊重し、人生の先輩として学んだり、支えあうようにしている。方言を教えてもらったり、職員が慰めてもらう時もある。おおむね介護度の低い方が多いため良い関係が築けている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	これまでの生活歴を活かした支援(習字、園芸、縫い物など)をしている。又日々の過ごし方も散歩、入浴、昼寝など出来る限り利用者の思いに沿った支援がされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の心身の状態や家族からの意見を取り入れ、チームで話し合い介護計画を作成している。家族にも見てもらい日々の暮らしに活かしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	処遇計画書を月に2回担当者がまとめ、現状確認のうえ1ヶ月ごとに介護計画を見直している。新たな課題や残された課題を把握し会議で話し合うと共に家族の意見も取り入れ作成されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設の特養やデイサービスとの交流は盛んで、骨折の利用者には特養の機械浴を使ったり、反対にデイサービスの方がホームに来られるなど事業所間の連携はよくとれていて、レクリエーションに参加するなどの交流も行なわれている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	3名の方は月に1度かかりつけ医を受診されており、嘱託医の受診も初期検診時には家族も同伴して医師と対面して頂き、以後の検診結果は、電話連絡や面会時に報告している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今までのところホームで死亡された方はなく、病院に搬送することが多い。週に2度嘱託医の往診があり、併設の施設に看護師がいるなど重度化には対応できるが、終末期には十分に対応できる体制は出来ていない。最期まで見てほしいと言う家族の意見もあり、今後看取りを行なう方針で検討している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	各部屋にトイレが設置されているので、排泄時の声かけは(部屋に帰ろう)と言うなど注意している。食事の食べこぼしもそれとなく対応され、一人の方は便失禁があり、トイレにおしぼりを置いて常に気持ちよく過せるように、職員にも解るように対応している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の流れはあるものの、利用者の希望にそって、テレビを見ている方、昼寝をされる方、掃除を手伝っている方など自由に過されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	週に2日料理の日を決め、利用者の好みを活かして、買い物をし、調理も職員と一緒にこなしている。食事中(お代わりもありますよ)と声が掛かり、職員とおしゃべりを楽しみながら美味しく食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	朝から夕方まで何時でもお湯が沸いており、自由に入浴することができる。本人の好みや体調を把握したうえで声かけて入浴されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	月に2度、大衆芸能の観劇を恒例にしており、利用者には好評で、部屋に役者のポスターや似顔絵を張っている方がおられたり、隣接施設でのボランティアによる喫茶コーナーに出かけるのを楽しみにされている方もいる。墨書きを得意とする方、食事の準備、後片付け、洗濯干し、洗濯たみ、掃除の手伝いなど役割を		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎週外泊される方。家族と外出される方など自由にされている。月に2度芝居を見に出かけたり、友愛ステーションに行く、外食やスーパーでの買い物など外出の支援をしている。お出かけノートを付け利用者の外出の程度を見たり、以後の参考にしていく。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関、居室共に鍵は掛けられていない。玄関は居間からよく見え、鈴が付けられている。居室にはそれぞれ柄の違う暖簾が掛かっており見守りが出来るようになっている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	施設の大門前が災害時集合場所になっており、6ヶ月に1度消防署の訓練を行なっている。事務室の壁に緊急連絡表が張られており、併設の特養で食料の備蓄もしている。	○	災害の対応についてのマニュアルを作成し、職員が混乱なく対応できる体制を作ると共に、消防訓練時の様子を記録して、今後の対応に活かしてほしい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは併設特養の管理栄養士の意見を聞き注意している。担当者が食事量、水分量、薬などの把握をして処遇記録に記入し、食事にムラのある方は日記に記入して、全員で注意している。水分量は注意を要する方のみペットボトルを使用し水分量の把握、記入している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間はいずれも広く、ゆったりしており、特に食堂、居間は広くて、採光のための坪庭にはうさぎが飼われている。食堂、居間を取り囲むように、玄関、浴室、各居室が配置され、窓も大きく居心地がよい。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には1間の物入れと、トイレが設置されていて、窓には障子をはめ込まれている。各居室は、今まで使用していた家具が持ち込まれ、一部に畳をひいた部屋や家具を少なくしてすっきりしている部屋など思い思いに工夫されている。		